



■文部省特選

怒り！笑い！落たん！希望！
老人と嫁が心の底でふれ合った時
愛の光彩に包まれて
人間は美しく崩壊する！
有吉佐和子の名作を映画化！



恍惚の人

原作 ■ 有吉佐和子 / 監督 ■ 豊田四郎 / 脚本 ■ 松山善三
(新潮文庫版)

181200-202

5月17日(土)ロードショー公開

上映時間	1回目 11:00	2回目 1:00	3回目 3:00	4回目 5:00	5回目 7:00
------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------

シルバーエイジ 60才以上の方は当日、小人
特別サービス 料金(1,000円)で入場できます。

新宿伊勢丹前シネタウン
新宿・東宝ビレッジ1 (351)
3128

ものがたり

84才の茂造がおかしくなったのは、彼の妻が突然死んでからだった。いや、もつと前からおかしかったのかも知れなかったが、嫁の昭子には分らなかった。義父の世話は、昭子にとって負担でもあり、正直いってあまり気持ちのいいものではなかった。茂造は、或る時は突然に甲州街道を無心に歩き続けた。目は、前方の一点を凝視して動かない。どこにそんな体力が残っていたのか、という早さだった。追いかけた昭子が、やっと力ずくで連れ戻した時は、思わず玄関にへタへたと座り込んでしまった。だが茂造はケロッとして空腹をうったえた。それにしても茂造の食欲は常軌を逸していた。一寸目を離れたときに、台所でナベを抱え込み、10人分の野菜の煮付けを、手づかみで食べてしまったこともあった。食事をして30分もすると、食べた事も忘れ空腹をうったえるのが常となった。

茂造のもうろくは、日がたつにつれて、どんどん進んでいくようになった。彼はもう、昭子しか分らない様子だった。自分の実の息子である、昭子の夫さえ暴漢呼ばわりして騒ぐ夜が何度かあった。昭子は法律事務所へ勤めているので、昼間の義父が心配だった。だが、離れを貸している若夫婦と、昭子の長男が、割合無邪気に老人の世話をしてくれるので助かっていた。老人ホームでもお婆さんの友達が出来たが長くは続かなかった。

茂造のもうろくは、昭子の子想い以上に進んでいるようだった。或る日茂造は風呂の中で溺れ、肺炎を併発して三日間生死の間をさまよった。昭子が一寸目を離れたときの出来事だった。奇せき的に回復した時に、昭子のこの老人に対する心は変わった。私の手で生かせるなら、生かせるだけ生かしたいと心から思った。茂造は意味もなくよく笑うようになった。彼は赤ん坊に戻ったようだった。茂造が死んだ日、家族、親類の中に何かほつとした空気が流れた。しかし部屋のみで昭子だけが、とめどもなく涙を流していた。

文部省特選

恍惚の人

原作 ■ 有吉佐和子<新潮文庫版>

脚本 ■ 松山善三 / 監督 ■ 豊田四郎

製作 ■ 株式会社芸苑社 / 配給 ■ 東宝株式会社



かいつ

発売以来4ヶ月で100万部、そして現在220万部を売り尽し、数多くの話題を賑わした有吉佐和子原作の世紀のベストセラーの完全映画化である。

老妻の死を契機として、茂造老人は奇怪な行動を次々と起し、家族を混乱におとし入れる。息子や孫が顔をしかめ、そっぽを向いている中で、ただ一人嫁の昭子だけが老人を理解し、彼のおごそかな死をみつめる。おもしろ、おかしく、美しく哀しい人間讃歌のドラマである。

茂造老人に森繁久彌、昭子に高峰秀子が扮しているが、この名優二人の共演は長い芸歴の中で初めてである。田村高廣、乙羽信子、杉葉子など大ベテランが共演している。

監督は「夫婦善哉」「雪国」などの豊田四郎があたり、その数多い文芸名作シリーズに花をそえる。脚本は名作「名もなく貧しく美しく」の松山善三、製作は佐藤一郎、市川喜一、株式会社芸苑社の創立第一回作品である。モノクローム・スタンダード版。



「ヤング」も「働き盛り」も「男性」も「女性」も見て下さい
 10代・20代 文句なしに抱腹絶倒。笑い過ぎて涙がこぼれる映画。
 30代 驚かないで下さい。話のタネには百聞より必見の映画。
 40代 明日では遅すぎる。今の内に見て、考える映画。
 50代・60代からは 恐ろしくありません。勇気を出して見る映画。

- スタッフ
- 製作 佐藤一郎
 - 市川喜一
 - 原 有吉佐和子
 - 脚本 松山善三
 - 監督 豊田四郎
 - 撮影 岡崎宏三
 - 美術 小島基司
 - 録音 原島俊男
 - 照明 榎原康介
 - 音楽 佐藤勝
- キャスト
- 立花茂造 森繁久彌
 - 立花信利 立花信利
 - 妻 田村高廣
 - 妻 高峰秀子
 - 長男 市川泉
 - 京子 乙羽信子
 - 門谷のお婆ちゃん 浦辺条子
 - 木原夫人 杉葉子
 - 藤枝弁護士 藤村伸郎
 - 中村 中村伸郎
 - 吉田日出子 吉田日出子
 - 篠川千恵 篠川千恵
 - 野村昭子 野村昭子
 - エミ 篠ひろ子